



ご取材のお願い

災害を“恐れる”から“未来を考える”きっかけへ

和歌山大学が紀南地域で公開講座を開催

「災害とともに暮らす知恵を紀南から」

– 紀伊半島大水害から14年。南海トラフ地震を見据えて、地域防災と復興の姿を考える –

和歌山大学 災害科学・レジリエンス共創センター（センター長：江種 伸之）は、2025年10月13日（月・祝）13:30～16:30、和歌山県田辺市の県立情報交流センター Big・Uにて、公開講座「災害とともに暮らす知恵を紀南から」を開催いたします。

本講座では、来年で紀伊半島大水害から15年となることを踏まえ、地元・紀南地域に根ざした災害科学の知見を共有し、災害後の地域と人との「つながり直し」や「復興のあり方」を市民とともに考えます。

開催のポイント

- 紀伊半島大水害から14年の節目を振り返る
- 南海トラフ地震の「被害想定」との向き合い方を問う
- 山間部・沿岸部など地形特性を踏まえた災害リスクに注目
- 講演とクロストークを通じて、地域に根ざした復興像を共創

開催概要

名 称：災害とともに暮らす知恵を紀南から

副 題：どこに、どのように住むべきか？災害のあと、人と地域がどうつながり直すか

日 時：2025年10月13日（月・祝）13:30～16:30（13:00 開場）

会 場：和歌山県立情報交流センター Big・U（和歌山県田辺市新庄町3353-9）

参加費：無料（事前申込制・先着50名）

形 式：対面開催

対 象：地元住民、防災関係者、自治体職員、教職員、学生、研究者 ほか

主 催：和歌山大学 災害科学・レジリエンス共創センター

取材について

当日は、講演・討論の様子や講師・参加者インタビューの取材が可能です。取材をご希望のメディア関係者様は、事前に下記までご連絡ください。

本件についてのお問い合わせ

和歌山大学 災害科学・レジリエンス共創センター（事務局）木下顕次

〒640-8510 和歌山市栄谷930 TEL: 073-457-7558（土日祝除く10時～16時）

Email: saigai@ml.wakayama-u.ac.jp

Web: <https://www.wakayama-u.ac.jp/disaster/>

プログラム（予定）

時間	内容
13:30～13:35	開会挨拶：江種 伸之（センター長）
13:35～14:05	【講演①】「南海トラフ地震と被害想定の向き合い方」 此松 昌彦（和歌山大学 教授）
14:10～14:40	【講演②】「山間部の災害リスクと2つの課題」 後 誠介（和歌山大学 客員教授）
14:45～15:15	【講演③】「災害後の地域の姿を描くには」 平田 隆行（和歌山大学 准教授）
15:15～15:25	休憩
15:25～16:25	【クロストーク】「田辺白浜沿岸部のリスクを語り合う」 登壇者3名+参加者との意見交換・質疑応答
16:25～16:30	閉会挨拶：平田 隆行（副センター長）

お申込み方法

【受付期間】2025年9月13日（土）～9月30日（火）

【申込方法】下記フォームよりお申込みください（先着順）

▶ 申込フォーム：<https://x.gd/9W8xI>

※合理的配慮（会場でのサポート等）が必要な方は、9月20日（土）までに事務局へご相談ください。



【参考情報】センター概要

和歌山大学 災害科学・レジリエンス共創センターは、「レジリエンス（復元力・回復力）」と「共創（協働による創造）」を理念に、災害科学に基づいた防災・減災・復興の研究と実践を行っています。地域社会と連携しながら、地に足のついた学問と共創の場を展開しています。

添付資料

講座チラシ（PDF） · 開催要綱（PDF）

